

乳辱ライフ！ 2







楓花（ふうか）
いいよね〜

ボーイッシュ系のモデルとして活躍してる「真鳥 楓花（まじま ふうか）」彼女が仕事の疲れから自室で寝ているところに悪魔「フィルデモス」が侵入してきて寝ている彼女の上着をたくし上げ彼女の乳首を弄び始めた



フィルデモスは気に入った人間の娘を自分専用のミルクサーバーにするため乳首調教する嗜好を持っておりたまたま目を付けた楓花を次のターゲットに選んだのだった

私のモノと
なった証の紋様

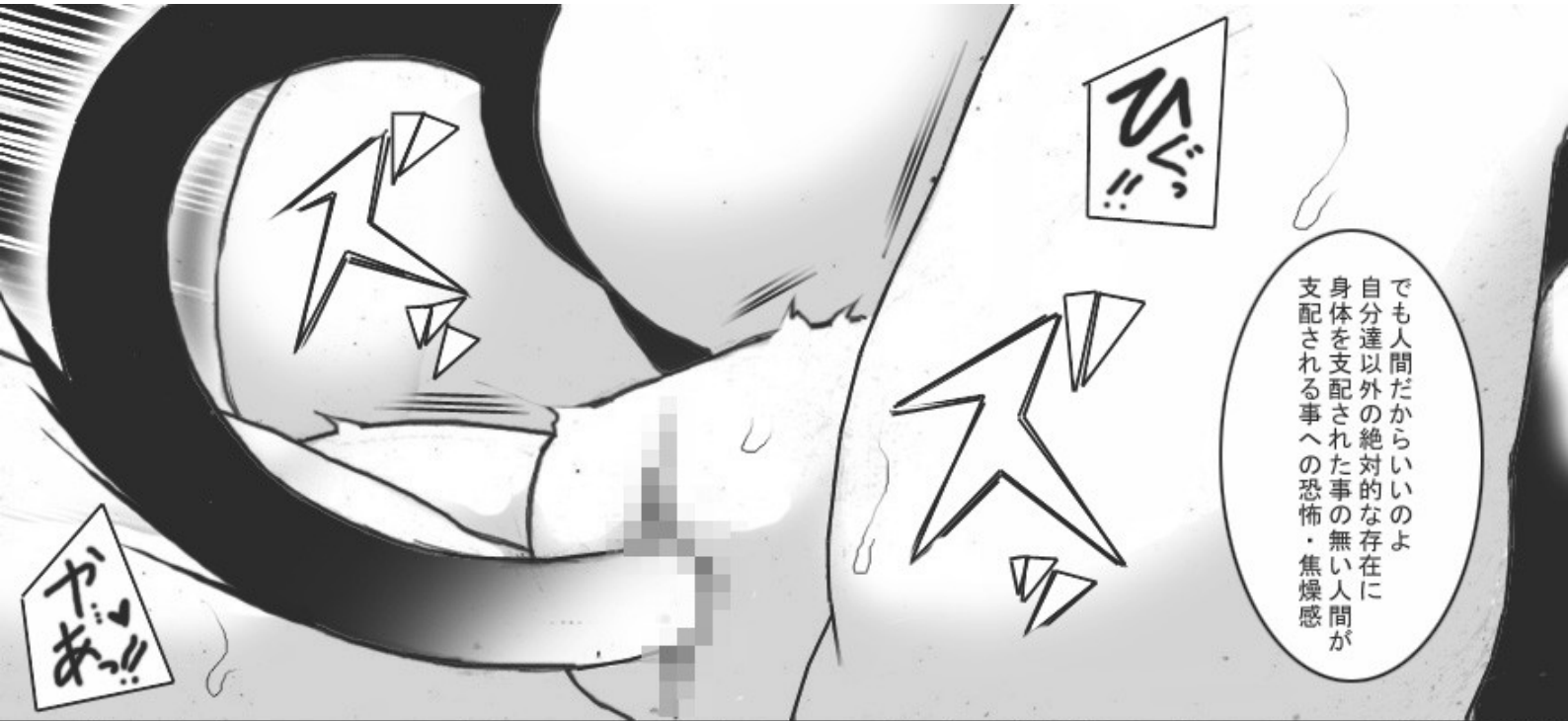


じーっくりゆーっくり
優しくコリコリ
穿るのがコツなのよ♪



発情したゴブリンみたい
ただ自分の性欲を吐き出して
荒々しく犯しても甘くて
濃いミルクは搾れない

特にただでさえ
脆い人間から
搾るならね♪



でも人間だからいいのよ
自分達以外の絶対的な存在に
身体を支配された事の無い人間が
支配される事への恐怖・焦燥感



そして羞恥：
そういった感情が混じり合って
搾りだされるミルクは
最高に甘くて美味なの♪



楓花の「中」からも伝
わって来るわよお？
体の自由を奪われる恐怖
中を穿られる焦燥感
抗えない快樂に対する羞恥が

奥から熱いミルクが
乳首目指して昇って
きたわよ楓花♪

ミルク噴きながら
絶頂しろ！

あああ

ちゃっ

奥
ぱら

ピュウ

ピュウ

ピュウ
ぱらぱら

「淫魔の烙印」
絶頂する瞬間最後の一押しとして浮かび上がる
フィルデモスの所有物である証の紋様
これを刻まれた人間は
フィルデモスにいつでも体の自由を奪われ
「彼女の快樂責めに抗えなくなる」



どう楓花??

ハ?

ハ?

この快樂に
病みつきに
なってきた
んじゃない?



あま...

んふ...
おいしい♪



こ...こんな
身体の自由奪われて
好き勝手されて...!

病みつきになんか
なるわけねーだろ!



ふむ...?



...それより
もう満足したんなら
体自由にしてくれよ...
今日撮影なんだからさ...



急に楓花さん
どこ行っちゃった
んだろ…？



撮影アシスタント
柳瀬 千明 (やなせ ちあき)



撮影中は
邪魔しないって
言ってただろ！

!?



えっ!?

楓花…さん？

興味の無いものには
干渉するつもりは
ないって…!!





え？あー！
いやその…

…てアレ？
誰かと言いつ争ってた
ように見えたけど
楓花さん一人…？



どうしたのは
こっちの台詞ですよ！
撮影中なんか
様子おかしかったから
様子見に来たんですよ

ち…
千明ちゃん！
どうしたの！？



楓花以外の人間には
私の姿は認知できないから
アナタが一人で大声あげてる
ようにしか見えてないのよねえ

くっ…！！
誰かに相談しようにも
コレだから誰にも
相談できないんだよな…



例えば
こんな事しても…



前にも言ったけど
見えないんじゃないから
認知する事が出来ないから

胸部補正サポーター

ハッ



その子からは
楓花がいきなり
おっぱいを
曝け出して

おわっ!!



ふ... 楓花さん!?

あ

あ



エツチな声を
聴かせてくる
変態にしか
見えなくなるのよ♪

キョ

やめ!!



フィルの奴！

撮影邪魔するどころか
なんの関係も無い
アシスタントの子の前で
私にあんな事を…！！

その後千明ちゃんは
顔真っ赤にして走って
戻っていったよ
フィルは勝手にどこか
消えて私を放置だし…！！

うんっ！！

てんっ！！

フィルの言うように
身体がアイツの物に
なってきたの…？

クソッ…！！
アイツの事考えるだけで
乳首が疼いて…



こんな夜中に
誰が…？



ドボーン

え？



え？
ち…千明ちゃん！？



楓花さん…
私です千明です…



声は確かに
千明ちゃんだけど…
なんで私の住んでる
マンションの場所を…？
教えた事はないはずだけど…



あの…こんな時間に
突然ごめんなさい…
どうしても相談
したい事が…



ど…どうしたの
千明ちゃん？
こんな時間に…



な…なんか怪しいけど
私も撮影の時のアレ
あやふやなままだったから
千明ちゃんにちゃんと
謝りたかったし…



うわっ!?



千明ちゃん!?

大丈夫か?
千明ちゃん!



とりあえず
私のベッドに!



何があったか
解らないけど...





フフ...
ダメよ楓花

っ!!



フィ...フィル!

あ、

腕は後頭部に回して
胸を反らして
「私のおっぱいを
可愛がってください」って
懇願しなきゃ♪

ふ

千明ちゃん！
ファイルお前まさか……！

ん……

今日からこの子も
アナタの「調教」に
付き合わせる事にしたから
ヨロシクね♪

楓花が
想像している
通りよ

この子にも仕込んだのよ
アナタの乳首にそうしたように
私の烙印をね♪







理由は
それだけじゃ
ないわよ





眼前でアナタに見つめられて
恥ずかしさで涙を浮かべながら
歪めている様は

や...

やだ...



どうっ？
アナタがいつも見ている
撮影中の凛々しくてカッコいい
楓花の顔が



す...凄い...
こんな楓花さんの顔
私初め...てっ

あ...

あ...あ...



可愛い...
可愛いよ...お!

ん...



可愛い...

ん

ん

ん...

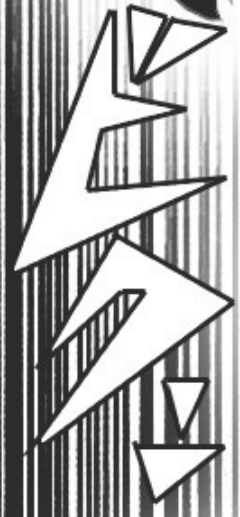


それにしても私達悪魔の力に対してある程度抵抗できる力を持った人間がいるっていう話は聞いた事があったけど



実際私が目を付けた人間の中でその力を持った人間はアナタが初めてよ楓花

最初私の力が衰えちゃったんじゃないかとちょっと心配しちゃったわ



ふふ…最高よ楓花
今まで何人も人間を
私のモノにしてきたけど



私の力に
抵抗できた人間は
アナタが初めてよ!



身も心も私のモノになった
人間を弄ぶのはもちろん楽しいけど
烙印ですぐ私の思い通りになるのも
ちよっとマンネリを感じてたのよね♪





おっ

あっ

これはこれで
アリねッ



ぺろ

んぐ…
異なる味のミルクが
混じり合って
とっても濃厚…

ちゅる

きん

あっ
あはっ

あっ
ああ



んんん

んんん

んんん

んんん

んんん

おんんん!!

あっ…あ！
あの楓花さんに…あ
カッコいい楓花さんに私…！

んまっ

んまっ

ん

吸って…！！
もっと私のおっぱい
吸って楓花さん…！！

んまっ

んまっ

んまっ

んまっ

んまっ

フフ…大変ね楓花♪
私いつもより激しく
乳首穿っているのに

さらに楓花自身も
乳首を責めさせられる事を
強要されてるんだから♪



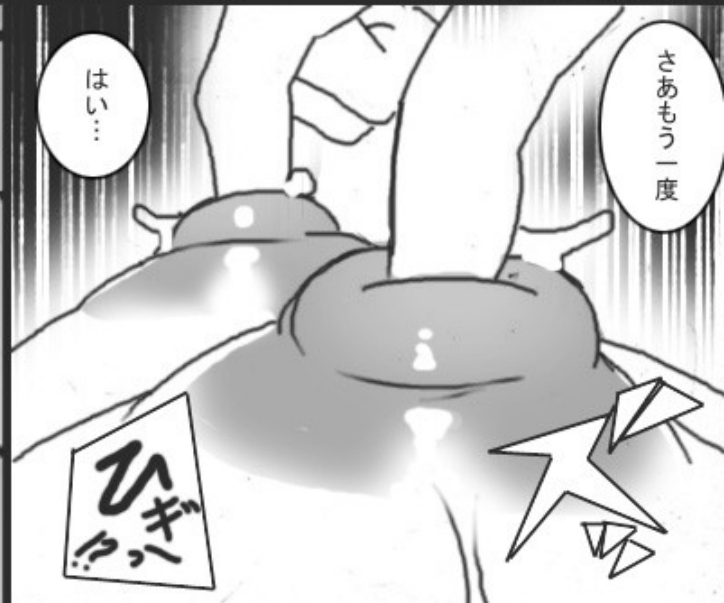
ホラ♪
もうイッた

おぼおぼ
おぼおぼ
!!!



こ...この悪魔めえ！
...悪魔だったわ...

今日はミルクが
出なくなるまで
ココを色んなモノで
コリコリしてやるわ♪



はい...

さあもう一度

ひぎッ

